

報道関係各位

2015年 7月 31日

フジサンケイ ビジネスアイ主催「第29回先端技術大賞 特別賞」を受賞 ～東北大学 西山大樹准教授らとの「スマホdeリレー」に関する共著論文～

株式会社構造計画研究所（本社：東京都中野区、代表取締役社長：服部正太）の事業開発部 西浦升人、大内夏子、大和田文子は、東北大学 西山大樹准教授、NTT ドコモ 岡部裕氏との共著論文で、フジサンケイ ビジネスアイ主催の「第29回 独創性を拓く 先端技術大賞」にて企業・産学部門の「特別賞」を受賞しました。

「独創性を拓く 先端技術大賞」の企業・産学部門では、独創性、市場性、新規性、社会性、潜在的可能性の5項目に加え、論文構成力など多面的に審査された結果、特別賞を受賞いたしました。当社は「大学、研究機関と実業界をブリッジするデザイン&エンジニアリング企業」として、今回の受賞を糧に今後も一層の研究を重ねてまいります。

※ 「独創性を拓く 先端技術大賞」の詳細については下記 URL をご参照下さい。

<http://www.fbi-award.jp/sentan/index.html>

■ 受賞概要

研究名称：

「自律分散ネットワークの安定化制御技術の研究開発 ～スマホ de リレーが切り拓くネットワーク新時代～」

受賞者：

◎西山 大樹 （東北大学）
岡部 裕 （NTT ドコモ）
西浦 升人 （構造計画研究所）
大内 夏子 （構造計画研究所）
大和田 文子 （構造計画研究所） 敬称略（◎代表者）



授賞式は高円宮妃久子様をお迎えし、
7月8日に行われました。



授賞式集合写真

■ 研究概要

自律分散ネットワークとは、携帯電話網のように通信基地局を必要とせず、モバイル端末だけで自由自在に瞬時に構築／解体を行うことが可能なネットワークです。スマートフォンの爆発的な普及に伴い、携帯電話網が重大な機能不全に陥る大規模災害時においても利用可能な通信ネットワークの1つとして近年注目されています。一方、既存の自律分散ネットワーク技術のほとんどは、特定の通信環境下での利用を想定して設計されており、その性能が著しく不安定であるため、実用化・社会展開には結びついていないのが現状です。

著者らはこれまでの研究開発で、ネットワークの不安定化を回避・軽減できる分散型ネットワーク制御技術「スマホ de リレー」の実現に成功しました（図1）。この技術はスマートフォンアプリとして今後展開していく予定ですが、本技術の適用先はそれに留まらず、ドローンや自動車などのロボット通信分野にも展開するべく現在さらなる技術開発を進めているところです（図2）。

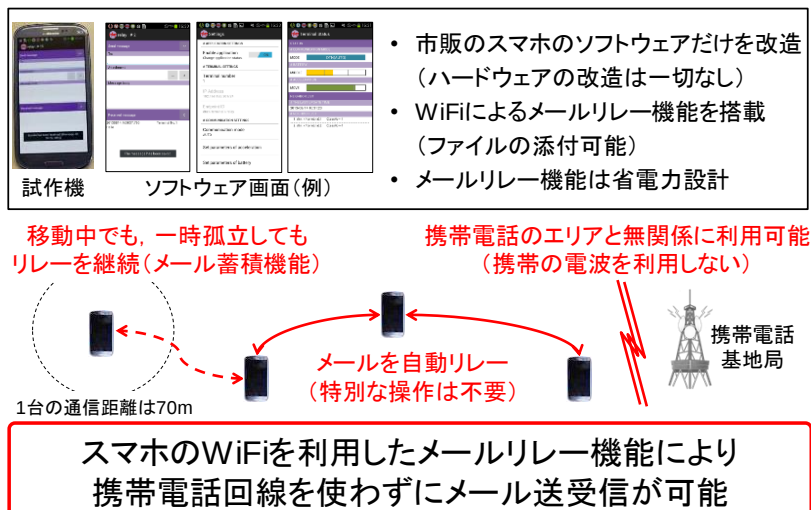


図1. 「スマホ de リレー」設計コンセプト

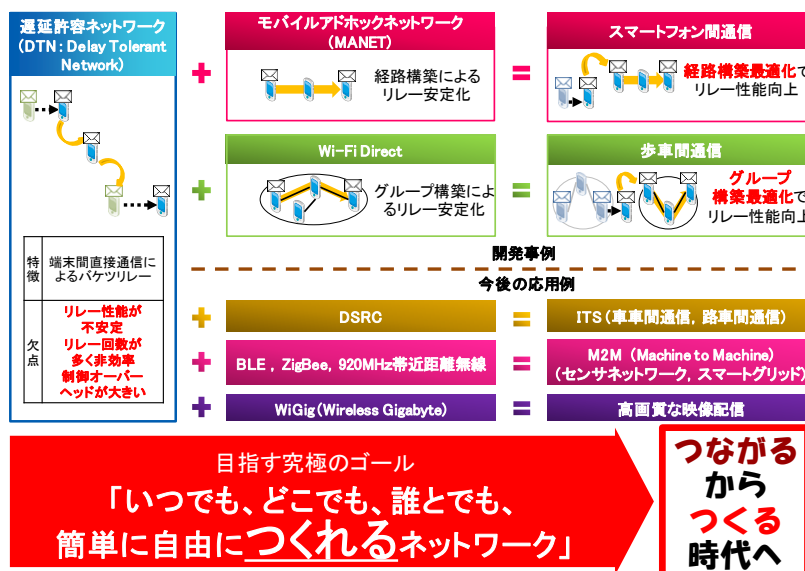


図2. 研究開発の将来ビジョン

■ 会社情報: 株式会社構造計画研究所 (<http://www.kke.co.jp>)

構造計画研究所は、社会と共に創りあげていきたい未来像として「Innovating for a Wise Future」を掲げております。大学、研究機関と実業界をブリッジする Professional Design & Engineering Firm を標榜する当社は、今後も工学知をベースにした有用な技術を社会に普及させることで、より賢明な未来社会を創出してまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社構造計画研究所 広報・IR室 守武
 TEL:03-5342-1040 e-mail: kke-pr@kke.co.jp

※ 構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。